



私のいちおし本 「小説 すずめの戸締り」

新海 誠 著



選者：内之浦銀河アリーナ 村永 智子

九州で叔母と暮らす17歳の鈴芽は、廃墟にある「扉」を探す青年・草太と出会います。

この扉は「後ろ戸」と呼ばれ、開かれると地震を引き起こすミミズが現れ、現世に災いが訪れるため、「閉じ師」が鍵を閉めて鎮めるというお話です。

この話の中で、鈴芽は「閉じ師」の手伝いをする事になり、様々な人々との交流を通じて成長していきます。また、東日本大震災の傷跡についても描かれ、とても考えさせられる作品です。

鈴芽は、色々な人々の温かさに触れながら戸締りの旅をします。最後は、何も聞かずに皆が送り出してくれる…大人だけでなく、子どもにも読みやすい小説であり、様々な表現が使われていて、映画を観た人も観ていない人にもおすすめしたい作品です。

今月の新刊

【銀河アリーナ図書室】

【一般】

はるか、ブレーメン

重松 清著

母に捨てられ、育ての親である祖母も亡くし、ひとりぼっちになった遙香は、人生の最後に走馬灯を描く旅をアテンドする仕事を手伝うことに。そんな折、母から「会いたい」と連絡が来て…



【文化センター図書室】

【一般】

砂の宮殿

久坂部 羊著

外科医の才所准一は海外富裕層向けの自由診療クリニックを運営している。

顧問が不審死を遂げ、医師たちの信頼関係に亀裂が走る。

高額な治療費への批判も止まず…。



【児童】

こえていける

パット・ズイトウロウ・ミラー 文

ボルダリングの壁を登れず、くじけてしまった女の子。「どうしたら今の自分を越えていけるのだろうか?」と考え、家族からの助言をもらい…“越えていく心”につながるヒントをちりばめた絵本。



【児童】

さくらちゃんのかえりみち

かさいまり作 吉田 尚令 絵

友だちとおしゃべりしながら帰りたいのに、さくらちゃんの家は学校から1分。ある日、転校生のあおいちゃんが一緒に帰ろうと誘ってくれて…。なかよしの友だちがほしいさくらちゃん、心温まる物語。



その他の新刊

【一般】金運が爆上がりするたこ星人の教え

櫻庭 露樹 著

いのちの十字路

南 杏子 著

【児童】ぼくはいったいどこにいるんだ

ヨシタケ シンスケ 作

チビのおねがい

室井 滋 作

その他の新刊

【一般】あえてよかった

村上 しい子 著

かんたん!らくらく!草取りのコツ

神津 博 監修

【児童】草の背中

吉田 道子 文

ひとりでがんばらない!子どもと考える福祉のはなし

藤田 孝典 著